



第14回 ゲスト：山野井咲里さん 『語り継がれる記憶の風景—クリストの青い傘』

第14回は、茨城県常陸太田市を拠点に活動するフォトグラファターの山野井咲里さんにご登壇いただきます。

常陸太田市の景色、特に古い小屋のある風景に着目。日常の中のどこか懐かしい風景を、新しい視点で見つめ直す作品を発表されています。

ご自身の写真展を行う一方、2020年『our umbrellas』という「アンブレラ」に関する地元の方の写真を集めた展示を常陸太田市で開催。

アンブレラとは、1991年にアーティストのクリスト&ジャンヌ＝クロード夫妻によって常陸太田市周辺で実行された大規模なアートプロジェクトで、わずか18日間で撤去されたにもかかわらず、田畑に並ぶ1340本の大きな青い傘の記憶が今なお地元で語り継がれています。

地域の方の心に「自分ごと」として残り続けるアートプロジェクト、地元で息づく思い出を写真展として発表した経緯、そして記録としての写真が持つ「伝える力」についてお話しいたします。

● ゲストプロフィール

山野井 咲里

やまのい さり

略歴

1974年茨城生まれのフォトグラファター。常磐短期大学卒業後、留学先のイギリスで写真の道に進むことを決意。都内スタジオ勤務後フリーとなり、雑誌、ライブの撮影など幅広い媒体の撮影に従事。子育て期間中に一度写真の仕事から離れるも、2014年茨城にUターンして活動を再開。

- 2017年「S.D.L Photo Exhibition」 gallery Y, Gallery COLB (つくば)
- 2018年「合同写真展 ミシュマシュ」梅津会館 (常陸太田)
- 2019年「5gallery's」スキマスペースプロジェクト (大子)
- 2020年「風景が、寄り添う」今日ハ晴レ (常陸太田)
- 2020年「いきづく」ギャラリー・サザ (ひたちなか)
- 2021年「最初に目にするものは光」ギャラリーしのざき (水戸)



定員	会場 10名 WEB 30名 (先着順)
日程	2022年1月21日(金) 18:30~20:30
会場	お茶ナビゲート
参加費	会場 500円 (資料代・ソフト ドリンク代込) WEB 無料

*参加費は当日会場にてお支払いいただきます(現金のみ)。

*新型コロナウイルスの感染状況によって、変更が生じる可能性があります。

お申し込み方法

お茶ナビゲートのカウンターまたは、ホームページの「お問い合わせ」より下記要領でお申し込みください。

<http://ocha-navi.solacity.jp/inquiry/>

- ・「タイトル」に「お茶ナビサロン参加申し込み」と記入。
 - ・「お問い合わせ内容」にご希望の参加方法(会場参加 or WEB参加)を記入。続けて「当日ご連絡可能な連絡先」を記入(携帯電話の番号など)。
 - ・「お名前」にお名前を記入。
 - ・「メールアドレス」に定期的に確認するメールアドレスを記入。
- ※お申し込み受付後、48時間以内に確認のメールをお送りします。

お茶ナビゲート MAP

東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ B1F



お茶ナビゲート
WEB サイト

